[2006]

永続的企業革新を推進していくためには、従来の慣習にとらわれない新しい発想で業務に取り組み、仕事の質を高めることが重要です。あなたの業務領域において**新しい発想で仕事を進めるとはどういうことですか**、あなたの考えを述べなさい。また、そのためにはあなたはどのように行動しているか、具体的に述べなさい。

<アウトライン>

永続的企業革新とはつまりどういうことか

・社員１人１人が現状(民生用プリンタとヘッドの売上)に満足することなく、多角的な視点で物事を見据えて業務の改善に取り組む(進取の気性とか当事者意識とか)を発揮して業務に取り組むことの出来る部門体制を構築する。

**自部門において従来の慣習にとらわれない新しい発想とは？(強調)**

・BtoB市場へ投入する商業用プリンタに要求される高い性能や技術力を従来と同等程度のリソースを用いて実現し、仕事の質を高める(全体最適がここで使えるかも)

仕事の質を高めるとは…

・機能追加やメンテナンスを容易に行えるソフトウェア構造設計の再構築

　→開発工数の短縮

・ヘッド開発部門に機能追加プロトタイプを早期に提供すること

→部門全体としてみた開発リードタイムの短縮に繋げる

　私は、デジタルプリンティング(以下、デジプリ)事業部のインクジェットヘッド評価装置開発部門に所属し、ヘッド評価装置のソフトウェアシステム設計を担当している。本論文ではこのような立場で論述を行う。

　近年の世界的な不況や市場の成熟により、私たちデジプリのインクジェット事業では従来の主力製品である民生用プリンタから戦略転換し、商業印刷市場を狙いとしたBtoBビジネスへ注力するといった企業革新を推進している。その中で、今後の主力の一旦を担う商業用プリンタは従来の民生用プリンタに比べ、高い技術力や性能保証が要求される。

　そのような状況下で私たちヘッド評価装置開発部門においても商業用プリンタヘッドの評価に対応できるように新しい発想で業務に取り組み、仕事の質を高める事が急務である。

　以上を鑑みて、私の業務領域において新しい発想で仕事を進めるとはどういうことかを以下に定義付けた

私の業務領域において新しい発想で仕事を進めるとは：今までの評価装置開発の在り方を見直し、ヘッド開発部門を含めた抜本的な開発体制の再構築を行い、仕事の質を高める

　そして、これを実現するために必要な事は以下の２点であると考える。

以下に、私が実際に行動していることを交えて論述を行う。

1. 煩雑化した評価装置ソフトウェアシステムの最適化による、仕事の質の向上
2. ヘッド開発部門との開発体制刷新による、仕事の質の向上

まずは、１．煩雑化した評価装置ソフトウェア開発の最適化による仕事の質の向上について述べる。

従来の装置ソフトのシステム設計においては、ヘッド開発部門からプリンタヘッド仕様情報を受けて、新ヘッドの評価を行えるように装置のソフトウェア並びにアプリケーションの開発を行いヘッド開発部門へ提供を行ってきた。しかしながら、現在の装置ソフトウェアは度重なる仕様追加により、様々な機能の処理部が重なり合う、いわゆるキメラのような状態になっていた。このような状態だと、新しい機能を追加する度に、従来の機能の動作に影響が及んでいないかテストを行う必要が生じ、開発工数の増加の一因を招いていた。

　そこで私は周囲を巻き込んで装置ソフトウェアのシステム構造を見直し、機能毎の依存部の切り離しを行うなどの最適化を図った。根本的な構造部の再構築となるため長期的な取り掛かりとなったが、周囲の理解もあり週1の定例の一部やCKIの時間等を活用して着々と取り組みを進めることが出来た。

この結果により、機能追加依頼を受けても従来の機能に影響を及ぼす恐れが無くなったため、テストを要する部分を最小限に抑えられ、開発工数の短縮に繋がった。

　以上に述べたように、私は煩雑化した評価装置ソフトウェアシステムの最適化による取り組みを行ったことで、テストを最小限に抑え、開発工数が短縮されることで仕事の質を高める事に成功した。

　続いて、２．ヘッド開発部門との開発体制刷新による、仕事の質の向上について述べる。

　従来の装置開発体制は、要求された全ての機能追加を終えてからヘッド開発部門へリリースされる。しかしながら、開発中に当初に提示されたヘッド仕様に変更が生じる事もしばしばあり、開発者に仕様情報の変更が行き届かないケースも稀に発生し、リリース時に細かな部分での仕様の抜け漏れが発生し、開発の手戻りが発生してしまうといった課題があった。

　そこで私は、ヘッド開発部門と相談し従来の装置提供の在り方を刷新して要求機能を最小限実装したプロトタイプ版をヘッド開発部門へ早期リリースして使用してもらう事を提案した。これにより急な仕様変更が発生してもプロトタイプをベースにしてヘッド開発部門から変更要求を行ってもらうことで仕様の抜け漏れが無くなり開発の手戻り発生を抑止することに成功し、またヘッド開発部門からプロトタイプのフィードバックを頂くことで、最終的に精度の高いリリース版の提供が可能となった。加えて、ヘッド開発部門側にとってもプロトタイプ版を使用することにより新ヘッドの先行検討が可能なり、部門全体の開発リードタイムの短縮に寄与することが出来た。

　以上に述べたように、私はヘッド開発部門と相談し従来の装置提供の在り方を刷新して要求機能を最小限実装したプロトタイプ版をヘッド開発部門へ早期リリースして使用してもらうことで仕様の抜け漏れを無くし、開発の手戻りを抑止することで仕事の質を高める事に成功した。

　以上述べたように、私が考えた新しい発想で仕事を進めるにあたり、今までの評価装置開発の在り方を見直し、ヘッド開発部門を含めた抜本的な開発体制の再構築を行い、仕事の質を高めるということを実現するために

１．煩雑化した評価装置ソフトウェアシステムの最適化による、仕事の質の向上

* 1. ヘッド開発部門との開発体制刷新による、仕事の質の向上

という2つの取り組みを通じて仕事の質を高めることで、私たちヘッド評価装置開発部門が今後商業用プリンタの評価にシフトしていった際にも高度な性能保証の対応が可能となり、事業部が今後も飛躍的な発展を遂げる事が出来ると私は確信している。

　今後も従来の慣習にとらわれない新しい発想で業務に取り組み、仕事の質を高めることで事業部、ひいては会社全体の永続的な企業革新の推進に貢献する。